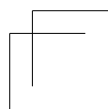
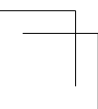
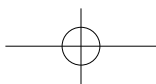
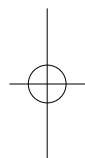
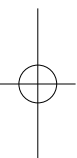
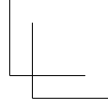
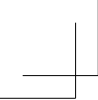
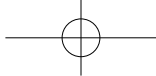


履修の実際



I 本学のカリキュラム

1 カリキュラムの特色

本学のカリキュラムは、「基礎教育科目」、「共通教育科目」、「専門教育科目」の3つの科目群から構成されています。皆さんは、履修上のルールに従って、このカリキュラムから自分の興味や希望に応じて授業科目を選択します。

このカリキュラムの最大の特色は、何といたっても授業科目の選択に際して専門を深めるということにあります。それは、皆さんが何を学問として究めたいのか、一人ひとりの志向性に配慮するからに他なりません。こうした趣旨から、「共通教育科目」には、専門を学んでいく上で必要な科目を用意しています。また、各学科・専攻に固有な「専門教育科目」においても、今日の社会生活を営むうえで必要となる広範な知識を体系的に学ぶとともに、段階を踏んで無理なく高度な専門的教養を身につけることができるようにしています。さらに本学では、大学で開講されている専門教育科目も履修することが認められています。

このカリキュラムを効果的に履修するには、皆さんが自ら学ぶ目的（卒業後の進路に関わる長期的な展望から Semester ごとに達成すべき短期的な目標まで）を明確にし、それに主体的に取り組む姿勢を保つことが要求されます。カリキュラムで保証されている自由な学修機会を自分のものにできるかどうかは、自ら進むべき方向を見出し、それに必要となる学修について自分で考え自分で道を切り拓いていこうとする皆さんの意欲と絶え間ない努力にかかっています。この履修要覧を手引きとし、またオリエンテーションやオフィス・アワーなど学修支援の場を大いに活用することにより、皆さんが実りある学修を行って自分の将来につなげていかれるよう切に希望します。

2 基礎教育科目

「基礎教育科目」は、本学の建学の精神である敬田院設立の精神を学び、それを実現することを目的とした「仏教Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、および建学の祖である聖徳太子について学ぶ「聖徳太子概説」を中心に据えています。

とくに「仏教Ⅰ・Ⅱ」では聞法（学習）と止観（静かに思索すること。瞑想とも言う。）を通して、「仏教Ⅲ・Ⅳ」では写経と止観を通して、主として仏教に関する知識を学修し高い人格形成を行います。

「仏教Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」は、いわば自らの修行の場であるといつてよく、その荘厳な雰囲気からしても、一般の授業科目には見られない独自性があります。また、全霊をあげての修行の場であるので、礼拝には指定スーツを着用して、出席することになっています。指定スーツを着用するという事は、単なる義務としてではなく、自ら進んで人格を高めるための修行の場に参加するという意思の表明なのです。入学時の気持ちを忘れず「仏教Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」に出席してください。

このほかに「基礎教育科目」では、「人権・同和問題論」を必修科目として学びます。

以上の科目は、「仏教」「人権」という点においていずれも本学での教育の基

3 共通教育科目 (生活福祉専攻はp.42 参照)

礎をなす重要な科目群ですので、学科・専攻を問わず必修科目8単位を修得してください。

「共通教育科目」は、各学科・専攻の枠にとらわれずに幅広い領域を学ぶために、学際的、現代的な科目が開講されています。これらのなかには、資格取得に関わる科目群やステップアップ方式で履修する科目群も含まれます。皆さんの目標や希望に合わせて選択してください。「共通教育科目」は、選択必修科目2単位を含んで8単位を修得しなくてはなりません。

このなかには、資格取得のための科目、就職活動の準備として有効な科目、大学他学部科目履修や海外語学研修、技能資格の単位化科目なども含まれています。皆さんの学修計画に合わせて履修してください。

※大学他学部科目：四天王寺大学で開講されている「専門教育科目」について所定の手続きを踏むことにより「共通教育科目」の単位認定をうけることができます。

「情報処理演習」は、すべての学生にとって基本となるもので、社会的に要請の高い情報処理技術を身につけることのできる科目です。学んだことは情報処理演習以外の授業で活用でき、語学学習、プレゼンテーション、レポート作成、統計、分析などいろいろな場面で活用できるはずです。「情報処理演習Ⅰ」では、高等学校で学習してきた情報処理の技能を基にして、ビジネス文書の作成やプレゼンテーション資料の作成をします。「情報処理演習Ⅱ」では、表計算ソフトを使って、即戦力をつくる情報処理能力を養います。これらを習得すると、あらゆるソフトを自分の力で使い方を見い出せるようになり、将来就職活動や検定試験に大きく役立てることが出来ます。

「数学演習」は、大学生の教養としての数学です。「数学演習Ⅰ」は、YESプログラムの受験指定科目（説明はp.61）です。「数学演習Ⅱ」と、「数学演習Ⅲ」は、数学が好きな学生向けになっています。就職対策の教養として役立ちます。

「生命の科学」「環境の科学」「化学の世界」「物理の世界」「地球と宇宙」「先端技術」は、最新の理化学、医学、物理工学などを教養科目として開講しています。授業概要を読んで、興味ある科目を受講してください。

「英語（生活福祉専攻平成21年度入学生は除く）」は、コミュニケーションに重点をおいています。基本的な会話から始め、状況に応じた会話力を身につけることを目標にしています。

幼稚園教諭免許状を取得する学生は必ず「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」および「日本国憲法」と「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」の5科目と「情報処理演習Ⅰ」また

は「情報処理演習Ⅱ」の1科目を履修してください。(説明はp.66)

保育士資格を取得する学生は「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」および「体育講義」、「スポーツⅠ」の4科目と「情報処理演習Ⅰ」または「情報処理演習Ⅱ」の1科目を履修してください。(説明はp.67)

キャリア関連科目

キャリア関連科目では、自分がどのように生き、どのような仕事をしていくのか、将来設計を行うとともに、そのためには学生時代にはどのようなことをすべきなのかなどを学びます。また、働くことの意味や社会の仕組みを理解したり、就職活動に必要なスキル（自己分析・コミュニケーション能力など）の習得を通じ、自分オリジナルの実践力をつけることもできます。1年次の「キャリアデザイン」から2年次の「キャリアマネジメント」・「キャリアゼミ」と順を追って履修してください。

その他に、日本経済や産業・企業、社会人としての教養を学ぶ科目も開講しています。

種別	授 業 科 目	担当教員	配当 Semester	開講 学期	備 考
共通 教育 科目	キャリア研究 キャリアデザイン	森山・前川	1~2	S/W	
	キャリア研究 キャリアマネジメント	藤原	3~4	S/W	
	キャリア研究 キャリアゼミ	鍋谷	1~4	S/W	
	キャリア研究 産業・企業研究	塚原(昭)	1~4	S/W	
	キャリア研究 日本経済の常識	中原	1~4	S	
	キャリア研究 社会人教養	須原・中原	1~4	W	

4 専門教育科目

短期大学部では2年間でかなり専門的な学修を修めなくてはならないので、「専門教育科目」は、各学科・専攻の教育目的に即して、1 Semester次から独自の学修内容が組み込まれ体系的に構成されたカリキュラムが展開されます。46単位（生活福祉専攻平成21年度入学生は74単位、平成20年度入学生は65単位）の単位修得が必要となります。その学科・専攻において中心となる科目は、必修、あるいは選択必修としています。なお、必修科目および選択必修科目は、かならず配当された Semesterで修得するようにしてください。取得できなかった場合には、卒業が延期される恐れがありますので、とくに注意してください。

また学科・専攻によっては、ある講義を履修する際の条件（これを「履修要件」といいます）として、特定の科目を修得していなくてはならない場合があります。また、学外実習を行う場合に履修要件として、いくつかの講義科目を履修しておかなくてはならない場合もあります。これらの「専門教育科目」を履修する上での規則については、各学科・専攻によって違いがありますので、「各学科専門教育科目の履修」をよく読んでおいてください。

Ⅱ 各学科専門教育科目の履修

保育科

教育目的

少子高齢化社会と女性の雇用促進にあいまって、子育ての社会化が急速に進められている。そのなかで幼稚園や保育所などの集団保育施設の役割も多様化するとともに、より高度な専門性が求められている。幼稚園教諭および保育士養成施設としての保育科は、このような時代背景に応えるべく、本学の建学の精神を踏まえ次のような教育目的を設定している。

「聖徳太子の仏教精神をもとにした仏教保育の理念と方法を体得し、人間性豊かで、受容性と共感性に富む、保育実践および社会援助技術の基本を身につけた保育者を養成する。」

到達目標

- ・ 少子高齢化社会における子育ての基本的課題を理解するとともに、集団保育施設の役割を把握する。
- ・ 保育力量の質を、乳幼児の成長発達への援助という側面から捉えるとともに、保護者の育児力への専門的支援という側面からも捉えることができるようになる。
- ・ 乳幼児の成長発達の過程を科学的に認識するとともに、受容性と共感性をもとにした関係能力の習熟を、保育者としての自己形成課題として自覚する。
- ・ 保育における生活概念を総合的かつ多元的に捉え、5領域にわたる実践技能を幼児教育的価値と関連づけて体得する。
- ・ 上記の目標を、聖徳太子の仏教精神をもとにした仏教保育の理念によって基礎づけることにより、保育哲学を核とした人格形成への自覚をもつ。

履修の仕方

- ・ 1セメスター時の学修テーマ：「子ども・保育との出会い」
保育や幼児教育の基本的な考え方を学び、子どもに対する見方や保育観に触れることにより、これからの学修への動機と見通しを確かなものにする。
- ・ 2セメスター時の学修テーマ：「子ども・保育を知る」
保育学の諸領域に触れ、将来の子ども理解や保育実践につながる基本的な知見を会得し、子どもや保育をより実践的に見る視点を養う。
- ・ 3セメスター時の学修テーマ：「子ども・保育にかかわる」
計画－実践－省察という保育実践の基本に通じる演習を本格化するなかで、既習の保育学諸領域の知識技能を確かめ、保育者としての実践知の基礎を吟味する。
- ・ 4セメスター時の学修テーマ：「保育者のたまごになる」
他者評価と自己省察を通して、子ども理解や保育理解のあり方を深め、保育者としての実践知を確かなものとしつつ、今後の自己課題を見極める。

生活科学科 生活科学専攻

教育目的

生活科学は、人間生活そのものを研究対象としており、衣・食・住を基本とする生活上の諸問題を科学的にとらえ、人的・物的両面から研究を深めていく。めまぐるしく変化する現代社会に対応できる専門性を身につけ、社会の一員として生き生きと活躍し、わたしたち生活者のQOL（Quality of Life）を向上させていける人材の養成をめざす。そのために生活科学の幅広い学問領域を総合的に学ぶ一方で、卒業後の進路を視野に入れ、衣・食・住のいずれかに関する専門的な知識と技術の修得および資格の取得を図る。さらに、キャリア・ビジネス教育を取り入れ、実務や情報の資格取得をはじめ、社会人として必要なビジネスマナーやコミュニケーション力などを身に付けることにより、品格と教養を備え、社会に貢献できる能力を養う。

到達目標

生活科学の専門教育とキャリア・ビジネス教育のコラボレーションにより、次の点を、生活科学専攻における教育の到達目標とする。

1. 生活科学の幅広い知識を総合的に身につけ、生活の質を向上させることのできる人材を養成する。
2. 生活の基本である衣・食・住の各学問分野の中から選択して、専門的な知識と技術を修得し、資格を取得する。
3. ビジネス実務と情報に関する知識と技能を修得し、資格を取得する。
4. 社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション力を身につけ、品格と教養を備え、社会に貢献できる能力を養成する。

履修の仕方

専門教育科目として設定されている生活科学演習では、衣・食・住3分野からなるコース制をとっており、3コースの中から1コースを選択履修することにより、専門性を深めることを狙っている。他の専門教育科目は、分野に関わりなく自由な選択が可能だが、生活科学演習で選択した分野（コース）の科目を中心に選択履修することにより、専門性をさらに深めることができる。各コースの主な内容は次の通り。

1. 衣・アパレルコース：デザインや構成法を身につけ、コンピュータを活用してアパレルを総合的に学ぶ。また、被服の管理や快適な衣環境について検討する。
2. 食・ウェルネスクース：食品・栄養の基礎知識から食物調理までの理論と技術を学ぶとともに、健康を考慮した食生活のあり方や食品の安全性を考える。
3. 住・インテリアコース：住宅やインテリアのデザインについて学び、CADによる製図法や3D-CADの操作法を修得する。また、住生活の意義について考察し、快適な住環境を検討する。

生活科学科 生活福祉専攻 (平成21年度入学生)

教育目的

本専攻は、高齢者や障がい者に対して、より質の高い介護福祉サービスを提供できる介護福祉士の養成を目的に教育する。また、福祉に関する教育だけに特化せず、実社会で求められるチームワークやコミュニケーション力などを育むことにも力を注いでいる。本専攻では、何事に対しても、楽しむという精神を大切にしたい。「よく学び、よく遊ぶ」ということは、好きになって取り組むこと、受身ではなく主体的な活動である。課外活動、校友や教員との交流なども積極的に実施し、一人ひとりの学生が、自分の将来について真剣に考え、目標達成に向けて意欲的に取り組むことができるように「やる気」と「豊かな人間性」を備えた教育を目的とする。

到達目標

第1点目に、卒業と同時に介護福祉士の国家資格を取得することを目標とする。第2点目に、生活という視点から幅広く関連分野を学ぶことにより、人々の暮らしを理解し、相手の心に寄り添うことができる人間性を養っていくことを目標とする。第3点目に、学生の学びに対する多様なニーズに柔軟かつ適切に対応し、一人ひとりの学生の主体的な学習態度を育むことを目標とする。第4点目に、介護実習室や入浴実習室など、実際の福祉現場に近い充実した学習環境を整備し、卒業後すぐに役立つ専門的知識や技術の修得を目標とする。第5点目に、四天王寺福祉事業団等の各施設における学外での実習を体験することで、「人への関心」を醸成し、学生が自らの将来像を具体的に描くことを目標とする。

履修の仕方

1年次では、人間と社会、介護、こころとからだのしくみの3つの領域を幅広く学習する。日常生活援助技術の授業では、認知症など心身の状況に応じた自立支援や介護など、日常生活を援助する技術を理論と実技両面で学ぶ。高齢者に対する支援と専門職等では、高齢者を理解することからスタート、老人福祉の現状と課題、介護保険制度の概要などを学ぶ。1年次の11月には、これまでの学びで身につけた知識や技術を活かした学外実習が設定されている。福祉サービスの利用者とのふれあいを通じて学内で学習したことの理解を深める。2年次では、アクティビティケア、ターミナルケアなど、これまでの学習を展開した内容を学ぶ。さらに、2月と6月の学外実習を通して、質の高いサービス提供が行える能力を身につける。

生活科学科 生活福祉専攻（平成20年度入学生）

教育目的

本専攻は、高齢者や障がい者に対して、より質の高い介護福祉サービスを提供できる介護福祉士の養成を目的に教育する。また、福祉に関する教育だけに特化せず、実社会で求められるチームワークやコミュニケーション力などを育むことにも力を注いでいる。本専攻では、何事に対しても、楽しむという精神を大切にしたい。「よく学び、よく遊ぶ」ということは、好きになって取り組むこと、受身ではなく主体的な活動である。課外活動、校友や教員との交流なども積極的に実施し、一人ひとりの学生が、自分の将来について真剣に考え、目標達成に向けて意欲的に取り組むことができるように「やる気」と「豊かな人間性」を備えた教育を目的とする。

到達目標

第1点目に、卒業と同時に介護福祉士の国家資格を取得することを目標とする。第2点目に、生活という視点から幅広く関連分野を学ぶことにより、人々の暮らしを理解し、相手の心に寄り添うことができる人間性を養っていくことを目標とする。第3点目に、学生の学びに対する多様なニーズに柔軟かつ適切に対応し、一人ひとりの学生の主体的な学習態度を育むことを目標とする。第4点目に、介護実習室や入浴実習室など、実際の福祉現場に近い充実した学習環境を整備し、卒業後すぐに役立つ専門的知識や技術の修得を目標とする。第5点目に、四天王寺福祉事業団等の各施設における学外での実習を体験することで、「人への関心」を醸成し、学生が自らの将来像を具体的に描くことを目標とする。

履修の仕方

1年次では、介護技術に関する科目を含んだ社会福祉系の科目を幅広く学習する。介護技術の授業では、認知症など心身の状況に応じた自立支援や介護など、日常生活を援助する技術を理論と実技両面で学ぶ。老人福祉論等では、高齢者を理解することからスタート、老人福祉の現状と課題、介護保険制度の概要などを学ぶ。1年次の2月には、これまでの学びで身につけた知識や技術を活かした学外実習が設定されている。福祉サービスの利用者とのふれあいを通して学内で学習したことの理解を深める。

2年次では、手話や点字、形態別介護技術など、これまでの学習を展開した内容を学ぶ。さらに、6月と11月の学外実習を通して、質の高いサービス提供が行える能力を身につける。

生活科学科 生活福祉専攻

介護福祉士資格について

法改正により、平成21年度入学者からは新カリキュラムが適用されますが、平成20年度までに入学した者は、入学時のカリキュラムで変更ありません。

いずれの場合も2年間で所定の単位を修得して卒業すれば、介護福祉士の資格を得ることができます。

ただし、休学または単位未修得により卒業延期となり、平成24年4月1日以降に卒業となった場合、介護福祉士資格を得るためには、さらに国家試験を受験して合格することが要件となります。この点について十分に注意してください。